

(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構及び都道府県で実施する  
職業訓練に係る評価シートについて

厚生労働省

1 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

(1) 離職者訓練（別紙1）

1ヶ月ごとに定められた訓練内容（システム）ごとに設定する課題により、ジョブ・カード様式4-2〔評価シート〕を用いて評価。

(2) 学卒者訓練（別紙2）

訓練修了時に交付される「取得単位通知書」（大学の成績証明書に当たるもの）をジョブ・カード様式4〔評価シート〕とみなし、その旨を明記。

2 都道府県

(1) 離職者訓練（別紙3）

求職者支援訓練で活用しているジョブ・カード様式4-2〔評価シート〕により評価。

(2) 学卒者訓練（別紙4）

大学の成績証明書に当たるものを発行している場合には、当該書類をジョブ・カード様式4〔評価シート〕とし、その旨を明記。発行していない場合には、「科目ごとに成績を記載したもの」を評価シートとする。

(3) 委託訓練（別紙5）

求職者支援訓練で活用しているジョブ・カード様式4-2〔評価シート〕により評価。

# ジョブ・カード様式4 - 2 (評価シート) (記載例)

別紙1

(機構 / 離職者訓練)

訓練番号

訓練科名 テクニカルオペレーション 科

訓練受講者氏名

上記の者の訓練期間における評価は、以下のとおりですので、今後のキャリア形成の参考にしてください。

平成 年 月 日

教育訓練実施機関

(就職支援責任者氏名・印)

(訓練実施施設の責任者氏名・印)

## 訓練期間・訓練目標

訓練期間	訓練時間	訓練目標 (仕上がり像)
平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	700時間	仕上がり像1: 機械製図を理解し、CADシステムによる製図ができる。 仕上がり像2: NC機械のプログラミング及び加工ができる。

知識、技能・技術に関する能力 (「知識、技能・技術に関する評価項目」ごとに、該当する欄に を記載)

### (1) 科目評価

A: 到達水準を十分に上回った B: 到達水準に達した C: 到達水準に達しなかった (評価は、試験結果等に基づき記載されたものです)

システム名	評価			知識、技能・技術に関する評価項目	評価に使用した課題
	A	B	C		
製図基本作業				J I Sに基づく機械図面の読図及び機械部品等の部品図や機械装置等の組立図の製図ができる。 製図用具と製図機械について知っている。 投影法について知っている。 機械製図規格 (図面様式、尺度、線と文字、図形の表し方、寸法記入) による製図ができる。 各種断面図示法、局部投影図、補助投影図、回転投影図、省略図法による製図ができる。 関連規格 (表面性状・幾何公差・寸法公差・はめあい) についてよく知っている。 各種機械要素 (ねじ、歯車、転がり軸受け) について知っている。 各種機械要素 (ねじ、歯車、転がり軸受け) の図示法による製図ができる。 安全衛生作業ができる。	M - 04「手描きによる組立図からの部品図作成」  (課題)
CAD基本作業				2次元CADシステムによる機械部品等の部品図や機械装置等の組立図の製図ができる。 2次元CADの基本コマンドの使用法を理解し、作図ができる。 2次元CADによる部品図の作成ができる。 2次元CADで組立図から特定部品を抜き出して部品図の作成ができる。 VDT作業について知っており、安全衛生作業ができる。	CADによる「ミニパイス」部品図と組立図作成  (課題)
CAD応用				2次元CADシステムにより要求仕様を満たした機械装置等の製図ができる。 2次元CADで定形パターンの作図ができる。 2次元CADによる部品図のファイル管理ができる。 他のCADシステム及びパソコンソフトとのデータを利用できる。 2次元CADでの立体図作成コマンドの使用法を理解し、拡散分解図の作成ができる。 CADカスタマイズができる。 VDT作業について知っており、安全衛生作業ができる。	M-06CADによる「XYステージ」部品図作成  (課題)
NC施盤作業				NC施盤のマニュアルプログラミングから段取り及び加工までの一連の作業により、機械部品加工ができる。 基本測定器による測定ができる。 普通施盤による端面、外径、段付け及び溝入れ切削ができる。 マニュアルプログラミングによる簡単なNC施盤プログラムの作成ができる。 刃先R補正機能を使用したプログラムの作成ができる。 課題図のプログラムの作成 (ねじ切り、溝入れ、複合固定サイクル) と編集ができる。 NC施盤の段取り及び加工ができる。 NC装置へのプログラムの登録、編集ができる。 VDT作業について知っており、安全衛生作業ができる。	M-01段取り形成およびプログラムの作成 (NC施盤作業)  (課題)

マシニングセンタ作業		<p>マシニングセンタのマニュアルプログラミングから段取り及び加工までの一連の作業により、機械部品加工ができる。</p> <p>汎用フライス盤による切削加工ができる。</p> <p>マニュアルプログラミングによる簡単なマシニングセンタプログラムの作成ができる。</p> <p>工具長補正、工具径補正を使用したプログラムの作成ができる。</p> <p>課題図のプログラムの作成（固定サイクル、サブプログラム）と編集ができる。</p> <p>マシニングセンタの段取り及び加工ができる。</p> <p>NC装置へのプログラムの登録、編集ができる。</p> <p>VDT作業について知っており、安全衛生作業ができる。</p>	<p>M-02段取り計算およびプログラムの作成(マシニングセンタ作業)</p> <p>(課題)</p>
NC工作機械作業		<p>CAMシステムによりマシニングセンタのNCプログラム作成とNC旋錠、NCワイヤ放電加工機による部品加工ができ、図面要求仕様を満たした機械装置が製作できる。</p> <p>放電加工の原理について知っている。</p> <p>マニュアルプログラミングによる簡単なNCワイヤ放電加工プログラムの作成ができる。</p> <p>課題図のプログラムの作成（テーパ加工、高速加工、ミクロン加工）と編集ができる。</p> <p>NCワイヤ放電加工機の段取り及び加工ができる。</p> <p>2次元および3次元CAMシステムの機能について知っている。</p> <p>他CADシステムのデータの取り込みができる。</p> <p>CADデータから工具経路を作成し、プログラムチェック及びプログラム修正ができる。</p> <p>NC装置へのプログラムの登録、編集ができる。</p> <p>機械部品の組み立て、調整ができる。</p> <p>VDT作業について知っており、安全衛生作業ができる。</p>	<p>ゼネバ間欠機構の製作</p> <p>(課題)</p>
評価項目の出所:			
(特記事項)			

(2) 訓練の受講を通じて取得した資格(任意)

取得日 平成 年 月 日

(3) 訓練期間中又は訓練終了後に取得した資格(任意) 訓練と密接に関わる資格のみを記入

取得日 平成 年 月 日

これまでの職務経験や訓練を踏まえた今後の就業の目標・希望

訓練受講者記入欄

(これまでの職務経験から学んだこと)

(訓練から学んだこと)

(今後の就業の目標・希望)

キャリア・コンサルタント記入欄 (仕事の経験・訓練から得た強み、訓練への取組姿勢、就業に向けた意欲等)

## 取得単位通知書

系科	生産機械システム技術科 学籍番号	フリガナ 氏名 生年月日		
科目名		標準	単位数	成績
専攻学科	工業技術英語		2	
	生産管理		2	優
	品質管理		2	優
	経営管理		2	優
	創造的開発技法		4	
	工業法規		2	優
	生涯職業能力開発体系論		2	
	製品材料設計		2	優
	精密機器設計		2	優
	自動化機器設計		2	優
	精密加工応用		2	優
	計測制御		2	
	センシング		2	優
	自動化機器		2	優
	生産自動化システム		2	優
	生産情報処理		2	優
	安全衛生管理		2	
小計			24	単位
専攻実技	電気・電子機器実習		4	優
	情報機器実習		4	優
	CAD/CAM応用実習		6	優
	CAE/実習		2	
	精密加工応用実習		8	優
	計測制御応用実習		4	
	センシング応用実習		2	優
	自動化機器応用実習		4	優
	生産自動化システム実習		4	優
	生産情報処理実習		2	良
	精密機器製作課題実習		10	優
	自動化機器製作課題実習		10	優
	製品設計応用実習		6	
	小計			54
応用	精密機器設計政策課題実習		54	
	精密治工具設計製作課題実習		54	
	自動化機器設計製作課題実習		54	
	自動化システム運用構築課題実習		54	
小計			0	単位
取得単位合計			78	単位

原本と相違ないことを証明します。

平成 年 月 日

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発大学校

校長

本通知書は、ジョブ・カード様式4〔評価シート〕に該当します。

# ジョブ・カード様式4 - 2 (評価シート)

別紙3

(都道府県 / 離職者訓練)

訓練番号

訓練科名

訓練受講者氏名 (氏 名)

上記の者の訓練期間における評価は、以下のとおりですので、今後のキャリア形成の参考にしてください。

平成 年 月 日

教育訓練実施機関

(就職支援責任者氏名・印)

(訓練実施施設の責任者氏名・印)

## 訓練期間・訓練目標

訓練期間	訓練時間	訓練目標(仕上がり像)
6ヶ月	701	ビル建築物の各種設備の保守、運転、管理に必要な基本的な技能及び関連知識について習得させる。

知識・技能・技術に関する能力 (「知識・技能・技術に関する評価項目」ごとに、該当する欄に を記載)

### (1) 科目評価

A:到達水準を十分に上回った B:到達水準に達した C:到達水準に達しなかった (評価は、試験結果等に基づき記載されたものです)

科目名	評価			知識・技能・技術に関する評価項目	コード
	A	B	C		
熱源設備				(1) 冷房用熱源の種類と設置場所を知っている	R922010971
				(2) 冷房用末端機器の種類と設置場所を知っている	R922010971
				(3) 暖房用熱源の種類と設置場所を知っている	R922010971
				(4) 真空ポンプ等熱源関連機器の名称と設置場所を知っている	R922010971
安全衛生				(1) 安全衛生の必要性、職場体験で行う作業の安全衛生について知っている。	KM301002
空気調和設備				(1) 蒸気管に使用する配管材料を知っている	D083020512
				(2) 冷温水管に使用する配管材料を知っている	D083020512
				(3) 冷温水管および冷却水管に使用する配管継手を知っている	D083020512
				(4) 冷温水管および冷却水管の勾配とその方向を知っている	D083020512
				(5) 弁類の種類とその使用目的、使用場所を知っている	D083020512
給排水衛生設備				(1) 給水管に使用する配管材料を知っている	D083020522
				(2) 給湯管に使用する配管材料を知っている	D083020522
				(3) 雑配水管に使用する配管材料を知っている	D083020522
				(4) 給水管、給湯管および消化管に使用する配管継手を知っている	D083020522
				(5) 弁類の種類とその使用目的、使用場所を知っている	D083020522
				(6) 雑配水管および汚水管の試験方法を知っている	D083020522
設備図面				(1) 施工図の種類及び内容を知っている	D083020472
				(2) 見下げ図、見上げ図の見方を知っている	D083020472
関係法規				(1) 管工事関連法規の内容を知っている	D083020472
				(2) 見下げ図、見上げ図の見方を知っている	D083020472
電気設備				(1) 電気設備関連の法規を知っている	D081010561
				(2) 防災関連法規を知っている	D081010561
				(3) 照明機器の種類、使用方法を知っている	D081010561
				(4) 電灯・コンセント設備の施工方法を知っている	D081010561
				(5) ビル監視設備のシステムを知っている	D081010561
ボイラー設備				(1) 給湯器廻りの弁類の使い方を知っている	D083020612
				(2) 排気塔の取付け勾配を知っている	D083020612
				(3) 蒸気の特徴を知っている	D083020612
				(4) 煙道の取付け勾配を知っている	D083020612

実	安全衛生作業法		(1) 会社や工場の定める安全規定の内容を正しく理解し行動できる	B002101
	空調設備実習		(1) 暖・冷房の運転切り替えの作業ができる	R922011012
			(2) 暖・冷房熱源と暖・冷房関連機器の簡単な修理ができる	R922011012
			(3) フィルターの清掃や冷却塔の清掃等日常的なメンテナンスができる	R922011001
			(4) 日常的な冷房運転と監視業務ができる	R922010981
			(5) 日常的な暖房運転と監視業務ができる	R922010981
			(6) 空調機と機の運転操作を行うことができる	R922010981
	給排水衛生設備実習		(1) 管種別に切断ができる。	K150201
			(2) 管の寸法取りができる。	K150201
			(3) 鋼管系配管のねじ切りができる。	K150201
		(4) パイプレンチによる鋼管系のねじ切り管の接合ができる。	K150201	
		(5) 給水栓を取付けることができる。	K150202	
		(6) 洗面器・手洗器・掃除流し・実験流し類を取付けることができる。	K150202	
		(7) 洋風大便器を取付けることができる。	K150202	
		(8) 床排水口・掃除口を取付けることができる。	K150202	
技	電気設備実習		(1) 材料・機器の準備ができる。(電灯・コンセント設備施工作業)	K150101
			(2) 各種の配管工事ができる。(電灯・コンセント設備施工作業)	K150101
			(3) 各種の配線工事ができる。(電灯・コンセント設備施工作業)	K150101
			(4) 各種の機器類取り付けができる。(電灯・コンセント設備施工作業)	K150101
			(5) 測定試験ができる。(電灯・コンセント設備施工作業)	K150101
			(6) 材料・機器の準備ができる。(防災設備施工作業)	K150101
			(7) 各種の配管工事ができる。(防災設備施工作業)	K150101
			(8) 各種の配線工事ができる。(防災設備施工作業)	K150101
			(9) 各種の機器類取り付けができる。(防災設備施工作業)	K150101
			(10) 測定試験ができる。(防災設備施工作業)	K150101
ボイラー運転実習		(1) 中央監視盤での計測(電気、室内温湿度等)の操作ができる	R922011101	
		(2) 中央監視盤での計測(室内温湿度等)の設定ができる	R922011112	
特別教育		(1) 溶接の長所と短所を知っている	E245011141	
		(2) タック溶接ができる	E245011141	
		(3) 安全防具を装着できる	E245011141	
		(4) 砥石交換ができる(要資格)	E245011052	
パソコン実習		(1) 文書の共有と管理ができる	引用元1参照	
		(2) コンテンツの書式設定ができる	引用元1参照	
		(3) セルデータの作成ができる	引用元1参照	
		(4) セルやワークシートの書式設定ができる	引用元1参照	
<b>評価項目の引用元(企業横断的な評価基準を活用した場合のみ):</b> <b>[引用元1参照]MOS(Word、Excel、Accessスペシャリスト・エキスパート)試験概要による評価基準</b> <b>(特記事項)</b>				

(2) 訓練の受講を通じて取得した資格(任意)

取得日 平成 年 月 日

(3) 訓練期間中又は訓練終了後に取得した資格(任意) 訓練と密接に関わる資格のみを記入

取得日 平成 年 月 日

これまでの職務経験や訓練を踏まえた今後の就業の目標・希望

<b>訓練受講者記入欄</b> (これまでの職務経験から学んだこと)
(訓練から学んだこと)

(今後の就業の目標・希望)

**キャリア・コンサルタント記入欄** (仕事の経験・訓練から得た強み、訓練への取組姿勢、就業に向けた意欲等)


# ジョブ・カード様式4 (評価シート)

別紙4

(都道府県 / 学卒者訓練)

訓練番号

訓練課名

科

訓練期間

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

氏 名

上記の者の訓練期間における職業能力についての評価は、以下のとおりですので、今後のキャリア形成の参考にしてください。

平成 年 月 日

(就職支援責任者指名・印)

印

(訓練実施施設の責任者指名・印)

印

A:到達水準を十分に上回った B:到達水準に達した C:到達水準に達しなかった

系科	科目名	訓練時間数	成績
学 科	安全衛生	36	A
	機械工学概論	34	B
	電気工学概論	24	A
	NC工学概論	34	A
	生産工学概論	24	B
	材料力学	34	A
	材料	24	A
	製図	34	A
	機械工作法	68	A
	測定法	24	A
	切削加工法及び研削加工法	68	A
	金型工作法	68	B
	精密加工法	36	A
	機械保全法	24	A

系科	科目名	訓練時間数	成績
実 技	安全衛生作業法	24	A
	コンピュータ操作基本実習	80	A
	製図基本実習法	68	B
	測定及びげがき実習	48	A
	NC工作実習	92	A
	切削加工及び切削加工実習	90	A
	機械工作実習	68	A
	精密加工実習	68	A
	機械保全実習	36	A
	CAD / CAM / NC作業	84	B
	ものづくり作業	100	A
	金型工作作業	170	A



# ジョブ・カード様式4 - 2 (評価シート) (記載例)

別紙5

(都道府県 / 委託訓練)

訓練番号

訓練科名 一般事務 科

訓練受講者氏名

上記の者の訓練期間における評価は、以下のとおりですので、今後のキャリア形成の参考にしてください。

平成 年 月 日

教育訓練実施機関

(就職支援責任者氏名・印)

(訓練実施施設の責任者氏名・印)

## 訓練期間・訓練目標

訓練期間	訓練時間	訓練目標 (仕上がり像)
平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	600時間	基本的な労働法や経理処理と併せてOA操作に関する知識・技能・技術を習得し、小規模事業所において必要となる全般的な事務処理ができる。

知識、技能・技術に関する能力 (「知識、技能・技術に関する評価項目」ごとに、該当する欄に を記載)

### (1) 科目評価

A:到達水準を十分に上回った B:到達水準に達した C:到達水準に達しなかった

科目名	評価			知識、技能・技術に関する評価項目	コード
	A	B	C		
学 科	簿記概論			(1) 複式簿記のしくみを知っている。	G39 010271
				(2) 貸借対照表、損益計算書や勘定科目を知っている。	G39 010271
	労働基準法概論			(1) 昇級とベースアップに関する手続きについて知っている。	K200106
				(2) 賃金台帳等法定帳簿の整備について知っている。	K200106
	労働者災害補償保険法概論			(1) 労働災害、通勤災害の防止への対応方法について知っている。	K200106
				(2) 労働災害、通勤災害に関する労働基準監督署等への届出について知っている。	K200106
雇用保険法概論			(1) 雇用保険の資格取得、喪失、給付請求等の手続きについて知っている。	K200106	
			(2) 退職者に対する雇用保険に関する説明及び事務手続きについて知っている。	K200106	
社会保障制度概論			(1) 健康保険に関する事務手続きについて知っている。	K200106	
			(2) 厚生年金保険に関する事務手続きについて知っている。	K200106	
安全衛生			(2) 安全作業や災害防止について知っている。	自社作成	
実	簿記実習			(1) 棚卸表の作成補助ができる。	K200110
				(2) 決算の整理手続きができる。	K200110
				(3) 純損益の算出ができる。	K200110
				(4) 貸借対照表と損益計算書の作成補助ができる。	K200110
				(5) 利益処分案と損失処理案の作成補助ができる。	K200110
技	OA基本実習			(1) 事務系のパソコンを操作することができる。	K120103
				(2) 資料作成における文書作成ができる。	K120103
				(3) 収集した資料を理解し、上手にまとめることができる。	K120103
				(4) 資料を上手に作成できる。	K120103
				(5) 制作案に基づいた資料の作成ができる。	K120103
				(6) 見積について理解し、見積書を作成できる。	K120103
				(7) 業務の伝達事項を理解し、情報収集のポイントの把握ができる。	K120102
				(8) インターネットを利用した情報収集ができる。	K120102
職場体験			(1) 職場体験において職場に適應することができる。		
			(2) 仕事に興味・意欲を示すことができる。		
			(3) 対人業務として十分適應できる。		

評価項目の出所:

(特記事項)

(2) 訓練の受講を通じて取得した資格(任意)

取得日 平成 年 月 日

(3) 訓練期間中又は訓練終了後に取得した資格(任意)

取得日 平成 年 月 日

これまでの職務経験や訓練を踏まえた今後の就業の目標・希望

訓練受講者記入欄	
(これまでの職務経験から学んだこと)	
(訓練から学んだこと)	
(今後の就業の目標・希望)	
キャリア・コンサルタント記入欄	